

流域の取組内容

令和8年3月12日
第12回 阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会
第7回 阿賀野川水系(阿賀野川)流域治水会議

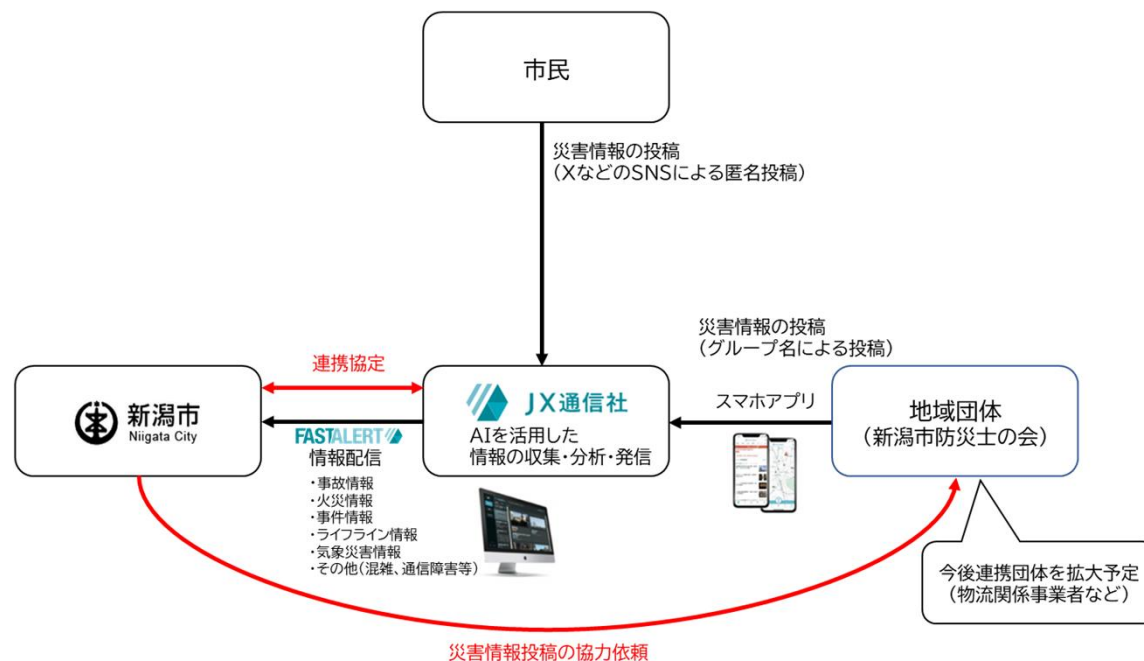
新潟市

被害情報の収集体制の強化

本市では、発災時における速やかな情報収集体制を構築するため、令和7年5月にAIを活用してSNS等から自動的に被害情報を収集できるシステム「FASTALERT（ファストアラート）」を導入。

令和7年12月には、収集する災害情報の確度を上げ、情報収集体制を一層強化することを目的に、「FASTALERT」の開発事業者である株式会社JX通信社と災害時における情報収集等のデジタル化推進に関する協定を締結した。

これにより、SNSの匿名投稿だけでなく、協力団体である新潟市防災士の会からスマホアプリを活用してより確度の高い情報の収集が可能となった。（今後も連携団体を拡大予定）



連携協定締結後の被害情報収集体制のイメージ

FASTALERTに投稿された被害情報（令和6年能登半島地震発災時）

五泉市

情報伝達等に関する取組み 及び 地域住民や学校などへの周知・教育・訓練に関する取組み

防災行政無線での情報取得を主としている高齢者(障がい者)など携帯電話を持たない世帯へ災害情報などを確実に届けるために戸別受信機を整備し、情報伝達手段の充実を図った。
また、防災意識の向上や携帯トイレの普及啓発を目的に災害用トイレカー(R7導入)を用いた出前講座などを行った。

戸別受信機

戸別受信機を整備し、設置を希望する対象世帯へ貸与

● 機器の特徴

- ・光、音、文字の3つの機能でお知らせ
- ・コンセントに差すだけで使用可能
- ・ボタン操作で取り扱いも簡単



戸別受信機

● 主な対象者

- ・携帯電話を持っていない、65歳以上のみの世帯
- ・視覚または聴覚に障がいを持っている方 など

● 導入台数

558台

各地域の高齢者等が定期的に集まる機会を活用し、機器の紹介や申請方法を周知

令和7年12月9日新潟日報記事▶

五泉市 高齢者世帯などに防災情報を提供

戸別受信機 貸し出し

五泉市はスマートフォンなどを持っていない高齢者世帯を相手と、屋間に同居家族が不在の高齢者だけになる世帯向けに、戸別受信機を無償で貸し出している。防災無線やメールで伝えている防災情報を因で聞いたり、表示される文字情報を見たりし確認できる。五泉市では防災無線や安心メール、LINEなどで防災情報を発信している。ただ、大雨や風などの影響がある外の防災無線は聞こえづらい場合がある。スマートフォンやパソコンを持っていない高齢者世帯などに、最新の情報が流れてくるのを確認して、サロンに参加し、その場で「LINE」を受け取った男性は「LINE」を使うつもりはないので、最新の情報が分かるか、この受信機を使いたい」と話していた。

558台準備、無償で スマホ持たない人向け

五泉市が準備した高齢者世帯などに貸し出している戸別受信機の説明会。五泉市 中戸倉

災害用トイレカー & 出前講座等

避難所環境改善への取り組みとして災害用トイレカーを導入 学校や地域などへの出前講座や防災イベントでの展示を実施

● 講座内容

- ①地域の被災リスク
- ②避難所の現状・課題
- ③災害への備え・対策 (トイレ対策の重要性)

● 実績

学校 3回 約230人
イベント 3回 約500人
約730人



避難所の現状を知り、必要な備えなどについて考える機会に！



阿賀野市

(様式2-取組概要)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分 類	②自分事と捉えることを促す
実施内容	親子防災セミナー
実施主体	新潟県、阿賀野市

地域防災活動の主体的な取組の推進のため、県内の小学生とその保護者を対象に、楽しく防災を学び・考える機会を提供し、防災の意識付けを行うことを目的とした親子防災セミナーを実施しました。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和7年11月22日(土)午前9時30分～12時00分
- ・ 参加者：23名
- ・ 内 容：防災〇×クイズ、簡易テント・簡易トイレの紹介、防災グッズの紹介、パッククッキング等

日本防災士会新潟県支部、阿賀野市食生活改善推進委員



(様式2-取組概要)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分 類	②自分事と捉えることを促す
実施内容	「避難所運営において必要なこと知っておくべきこと」研修会
実施主体	阿賀野市社会福祉協議会、阿賀野市

避難所は、災害時に被災者や支援に関わる人にとって重要です。研修では、災害発生後の避難所運営について学びました。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和7年11月19日(水)午前9時30分～12時00分
- ・ 参加者：20名
- ・ 内 容：「避難所運営において必要なこと、知っておくべきこと」
 - ①過去の災害発生時における避難所運営事例紹介
NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏
 - ②阿賀野市の防災に関する取組について
阿賀野市危機管理課



新発田市

(様式2-取組概要)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分類	その他
実施内容	避難支援セミナー2026in新発田
実施主体	新潟県、新発田市

個別避難計画などの共助の重要性について能登半島地震からの教訓を認識してもらい活動の活性化につなげる。また実際に取り組みられた自治会での活動事例や、パネルディスカッションを通じて活動内容の深堀り行いながら紹介した。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和8年2月1日（日）
- ・ 参加者：自主防災組織（自治会）、民生委員、福祉関係者ほか
- ・ 内 容：① 演題 令和6年能登半島地震・豪雨で何が起きたのか
～みなで支え合う避難と避難生活の実際～
講師 新潟大学危機管理センター 教授 田村 圭子 氏



□□□□講師 田村圭子 氏□□□□



□□□□会場の様子□□□□

阿賀町

(様式2-取組概要)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分 類	自分事と捉えることを促す
実施内容	阿賀町水防訓練
実施主体	阿賀町

阿賀町では、消防団を主体とした水防活動が迅速かつ安全に実施できるよう、防災関係機関からも参加いただき水防訓練を実施。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和7年6月15日（日）13：30～15：00
- ・ 参加者：阿賀町消防団、阿賀町消防本部、阿賀町、新潟県、阿賀野川河川事務所など66名
- ・ 内 容：① 釜段工法



阿賀町消防団による釜段工法訓練および点検の様子

(様式2-取組概要)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分 類	自分事と捉えることを促す
実施内容	防災学習の実施
実施主体	阿賀町

BSN新潟放送と連携し、防災の啓発や災害時の情報発信の方法など、学ぶことを目的として、津川小学校4年生を対象に防災学習を実施。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和7年12月8日（月）10：00～11：00
- ・ 参加者：津川小学校4年生18名、BSN職員、阿賀町
- ・ 内 容：BSN社見学、災害報道や情報発信の役割の説明、災害時ニュース速報模擬体験



機材の役割について説明を受けている様子



スタジオで災害速報の原稿読みを体験する様子



正確な情報を届ける大切さを学んでいる様子

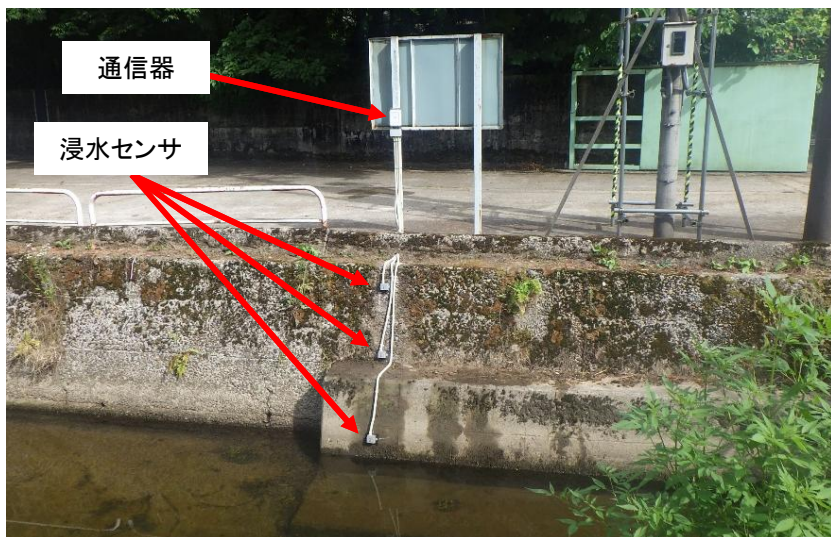
(様式2-取組概要)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分 類	自分事と捉えることを促す
実施内容	浸水センサの設置
実施主体	阿賀町

国土交通省が進める「ワンコイン浸水センサ実証実験」に基づき、国から提供いただいた浸水センサを令和7年6月に町内5箇所を設置。地域の浸水状況をリアルタイムで把握・共有し、災害時の情報提供や初動対応の向上に取り組みました。

【実施概要】

- ・ 目 的：洪水・内水氾濫浸水状況をリアルタイムで把握、樋門操作・避難判断の迅速化
- ・ 設置場所：洪水発生実績箇所2箇所、樋門操作必要箇所2箇所、避難重点地区1箇所 計5箇所
- ・ 主な効果：早期把握・初動対応の迅速化、樋門操作の的確化・安全性の向上
地域住民の防災に対する意識向上



河川に設置された浸水センサと通信器で水位を監視



浸水センサと通信器の拡大写真

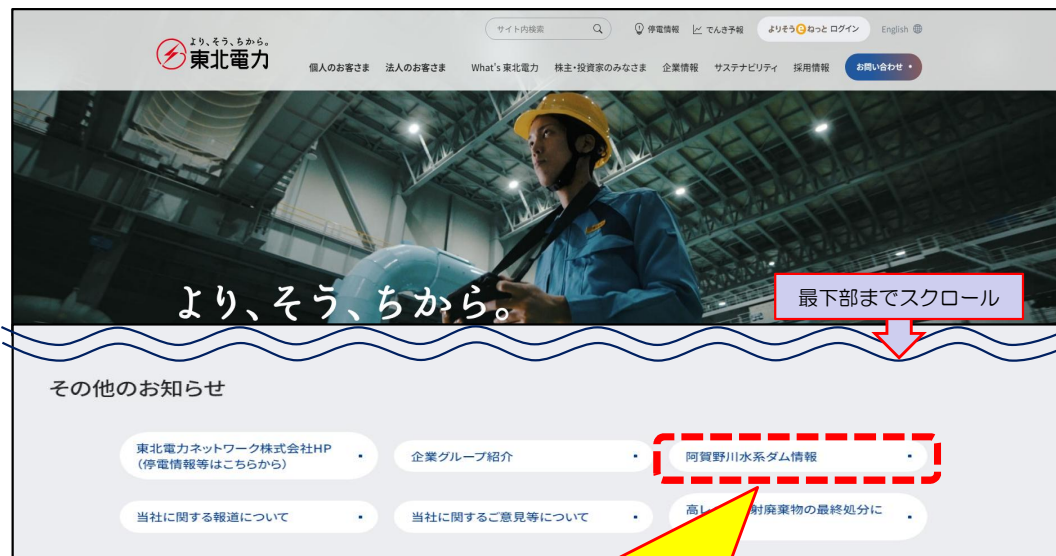


東北電力(株) 会津若松支社

(様式2-取組概要)

区分	被害の軽減, 早期復旧・復興のための対策
分類	リスク情報等の提供
実施内容	阿賀野川水系ダム情報の提供
実施主体	東北電力株式会社

阿賀野川水系にある当社ダムの情報を, 当社ホームページからダム情報, 雨量情報, 支川流量情報が確認できます。また, 国土交通省の『川の防災情報』からも当社のダム情報が確認できます。



①当社ホームページを開いた画面を最下部までスクロールし「阿賀野川水系ダム情報」をクリック。

阿賀野川水系ダム情報

阿賀野川水系のダム、雨量等の情報をご覧ください。

水系図

雨量情報

支川流量情報

水系断面図

只見蒸気情報

阿賀蒸気情報

履歴

ダム情報

ダム地点雨量情報

雨量観測所情報

支川流量情報

- 本サービスの情報は、参考情報です。
- 本サービスの情報を利用することで発生した、生命、身体、財産上の損失・損害について、当社は一切責任を負いません。
- 本サービスの情報を第三者に譲渡・転貸・提供することはできません。
- 本サービスの情報は、予告なしに変更・追加・中止することがあります。
- 本サービスへのアクセス集中により、情報が表示されないことがあります。
- 当システムは、メンテナンス等で予告なく停止することがあります。

上記画面が表示され, 画面左側の情報項目を選択することで, 9項目の情報画面が表示されます。

新潟県

(様式4-取組概要)

区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分類	② 自分事と捉えることを促す
実施内容	避難に必要な情報の周知
実施主体	新潟県

河川水位、河川監視カメラ画像、土砂災害危険度情報等の情報を配信しています。
 (リアルタイムの河川情報及び土砂災害危険度情報等の提供、浸水リスク及び土砂災害リスク情報の周知)

地域住民の主体的な避難行動を支援

河川防災情報システムによる
河川情報の周知

土砂災害警戒情報システムによる
土砂災害危険度情報等の周知

防災アプリによる
浸水及び土砂災害リスク情報の周知



避難に役立てよう!
新潟県河川防災情報システム
 リニューアルにより
 使いやすくなりました
 → 地図を見やすく!
 → カメラ画像追加!
 → 水位計を大幅に増設!

- 雨量・水位情報**
河川の水位・県内全域の雨量情報を見ることができます。
- レーダー雨量**
最大3時間先までの予想雨量を見ることができます。
- 警報・注意報**
大雨・洪水など気象に関する警報・注意報の発令状況を見ることができます。

新潟県河川 



土砂災害から逃げ遅れないために必要な情報を収集しよう!

■土砂災害警戒情報と土砂災害警戒情報システム

土砂災害警戒情報は、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況になったときに新潟県防災情報システムと共同で発表しています。
 市町村の発令する「避難指示」：警戒レベル4相当の情報です。
 危険度が高まっている詳細な領域については「新潟県土砂災害警戒情報システム」により確認できます。

■土砂災害危険度情報の確認方法

新潟県土砂災害警戒情報システムでリアルタイムの土砂災害危険度を確認し、土砂災害から身を守ろう!

7日前までの情報を確認できます。

右側の地図領域に表示する以下の情報を選択できます。
 ・土砂災害危険度情報
 ・レーダー雨量
 ・雨量観測情報
 ・土砂災害警戒区域など

左側のメニューで選択した情報が地図上に表示されます。

新潟県土砂災害警戒情報システム
<http://goboku-doboku.pref.niigata.jp/sabou/index.html> QRコードからも検索できます。
 または「新潟 土砂」で検索



自らの命を自ら守るための
新潟県公式 防災ナビ

新潟県内の防災情報がプッシュ通知で届きます。

トックンキ

① 防災情報
 避難情報や気象情報など、最新の防災情報を表示します。

② 避難所・避難場所検索
 現在地周辺の避難所や避難場所を地図上で検索して表示します。

③ 現在地情報
 現在地の雨量、水位の情報を表示します。

④ 安否登録
 現在地からの安否登録ができます。避難先や避難先以外の場所の安否登録もできます。

インストール
 

(様式4-取組概要)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分 類	③ 行動を誘発する
実施内容	要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進
実施主体	新潟県

- 施設管理者を対象として、避難確保計画の作成方法を身につけてもらうための講習会を県が主体となって開催する取組を実施。
- 令和3年10月に加茂市で講習会を開催し、避難確保計画の作成率が大幅に増加。講習会の参加者からは好評をいただいた。
- 令和7年度は新潟市において、講習会を実施した。

新潟市における講習会の様子



(様式4-取組概要)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分 類	② 自分事と捉えることを促す
実施内容	土砂災害警戒区域等の認知度向上
実施主体	新潟県

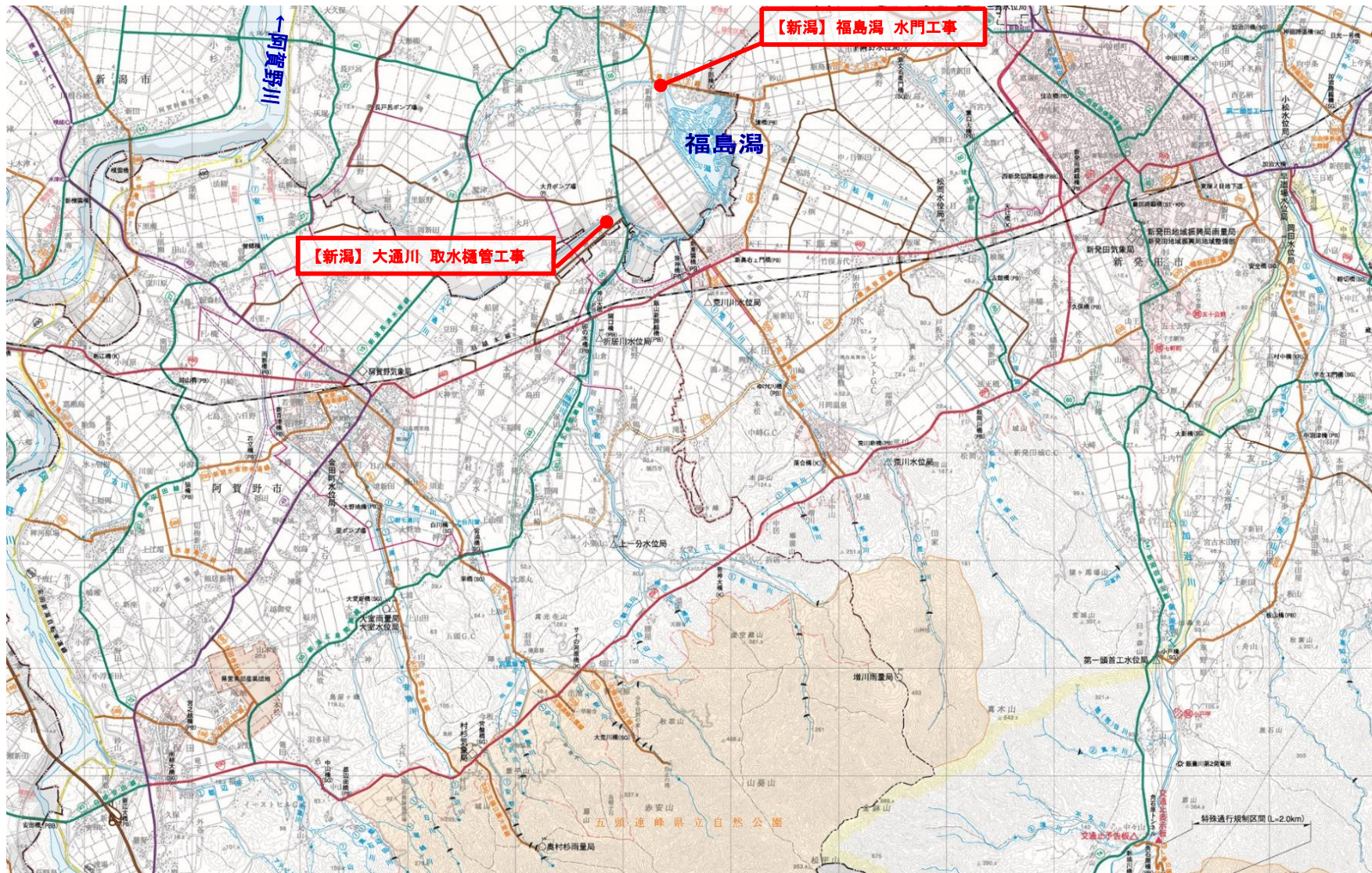
平時から地域住民等へ土砂災害警戒区域等の土砂災害のおそれのある区域を周知し、土砂災害防止の啓発を図る。



新潟県 新潟地域振興局 地域整備部



【新発田地域整備部(一部新潟地域整備部含)】 令和7年度 新潟県の河川事業の概要



(様式4-取組概要)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分類	① 洪水氾濫対策
実施内容	福島潟における福島潟水門工事
実施主体	新潟県新潟地域振興局地域整備部

福島潟水門の新設工事を進めています。



新潟県 新潟地域振興局 農林振興部

(様式2-取組概要)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分 類	⑥ 流域の雨水貯留機能の向上
実施内容	間伐等の森林整備の実施
実施主体	新潟地域振興局(津川地区振興事務所)

【実施概要】

- 土砂災害防止や水源かん養等の森林の持つ多面的機能の高度発揮を図るため、森林組合等が民有林で実施する森林整備に対して支援を行いました。
- 流域内に管内を有する新潟地域振興局および同振興局津川地区振興事務所管内においては、令和7年度にそれぞれ約34ha・約73haの森林整備の実施が見込まれています。



□人工造林（再造林）



□広葉樹更新伐



□間伐

(様式2-取組概要)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分 類	⑥ 流域の雨水貯留機能の向上
実施内容	森林の復旧
実施主体	新潟県新潟地域振興局(津川地区振興事務所を含む)

【実施概要】

森林を維持・造成する基盤となる治山施設の整備（治山ダム等）、過密状態で保水機能が低下したスギ林の間伐及び幼齢木の成長を阻害する雑草を除去する下刈りを実施し、森林の有する雨水貯留機能の向上を図りました。

R7年度治山対策実績

- ・ 治山ダム：1基
- ・ 森林整備：2.65ha



治山施設の整備の状況



森林整備（間伐）の状況

新潟県 新潟地域振興局 新津地域整備部

(様式4-取組概要)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分 類	① 洪水氾濫対策
実施内容	緊急浚渫推進事業債を活用した河床掘削・伐木
実施主体	新潟県新潟地域振興局新津地域整備部

緊急浚渫推進事業債を活用し河道内の伐木を実施



着手前

新江川



着手前

三兵川



竣工



竣工

(様式4-取組概要)

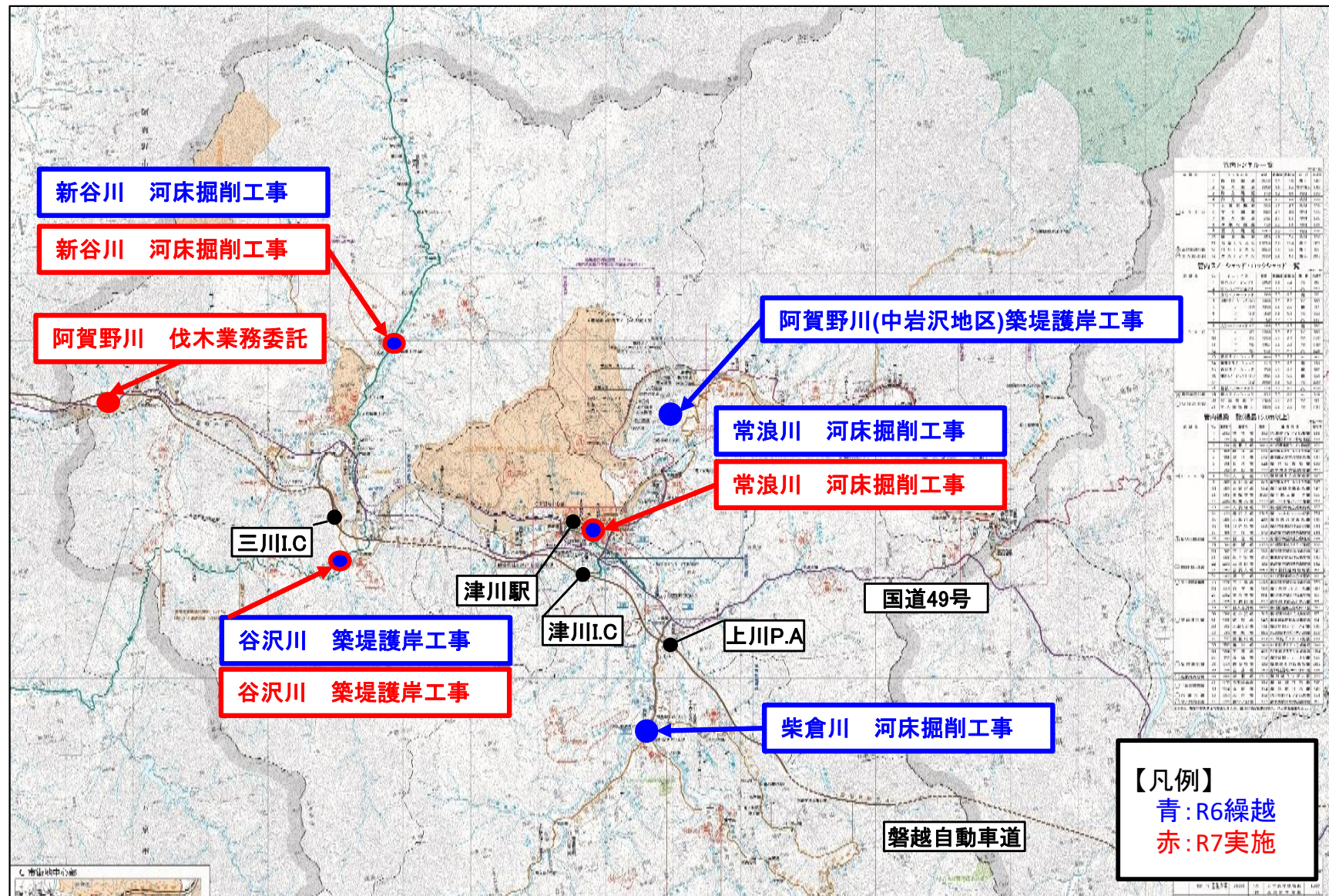
区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分 類	③ 土砂災害対策
実施内容	砂防関係施設の整備
実施主体	新潟県新潟地域振興局新津地域整備部

一級河川尾白川第1号堰堤改築工事



新潟県 新潟地域振興局 津川地区振興事務所

【津川地区振興事務所】 令和7年度 河川事業の概要



(様式4-取組概要)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分 類	① 洪水氾濫対策
実施内容	阿賀野川の工事を実施
実施主体	新潟県新潟地域振興局津川地区振興事務所

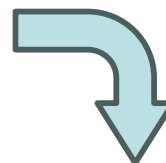
阿賀野川水系阿賀野川圏域河川整備計画（平成29年2月）に基づき、築堤工事を実施。

【実施概要】（中岩沢地区全体）

・ 延長 L=210m ・ 築堤（ICT施工含む） V=1,620m³ ・ ブロック積 A=1,066m² ・ 樋門 N=1基



2023年9月撮影



2025年10月撮影

(様式4-取組概要)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分 類	① 洪水氾濫対策
実施内容	緊急浚渫事業債を活用した河床掘削工事・伐木業務委託等
実施主体	新潟県新潟地域振興局津川地区振興事務所

令和7年度も引き続き、緊急浚渫推進事業債を活用した河道掘削工事・伐木業務委託等を実施。

阿賀野川【阿賀町】
あらや
支川 新谷川



2024年8月撮影



2025年3月撮影

阿賀野川【阿賀町】
いしま
石間 地内



2025年9月撮影

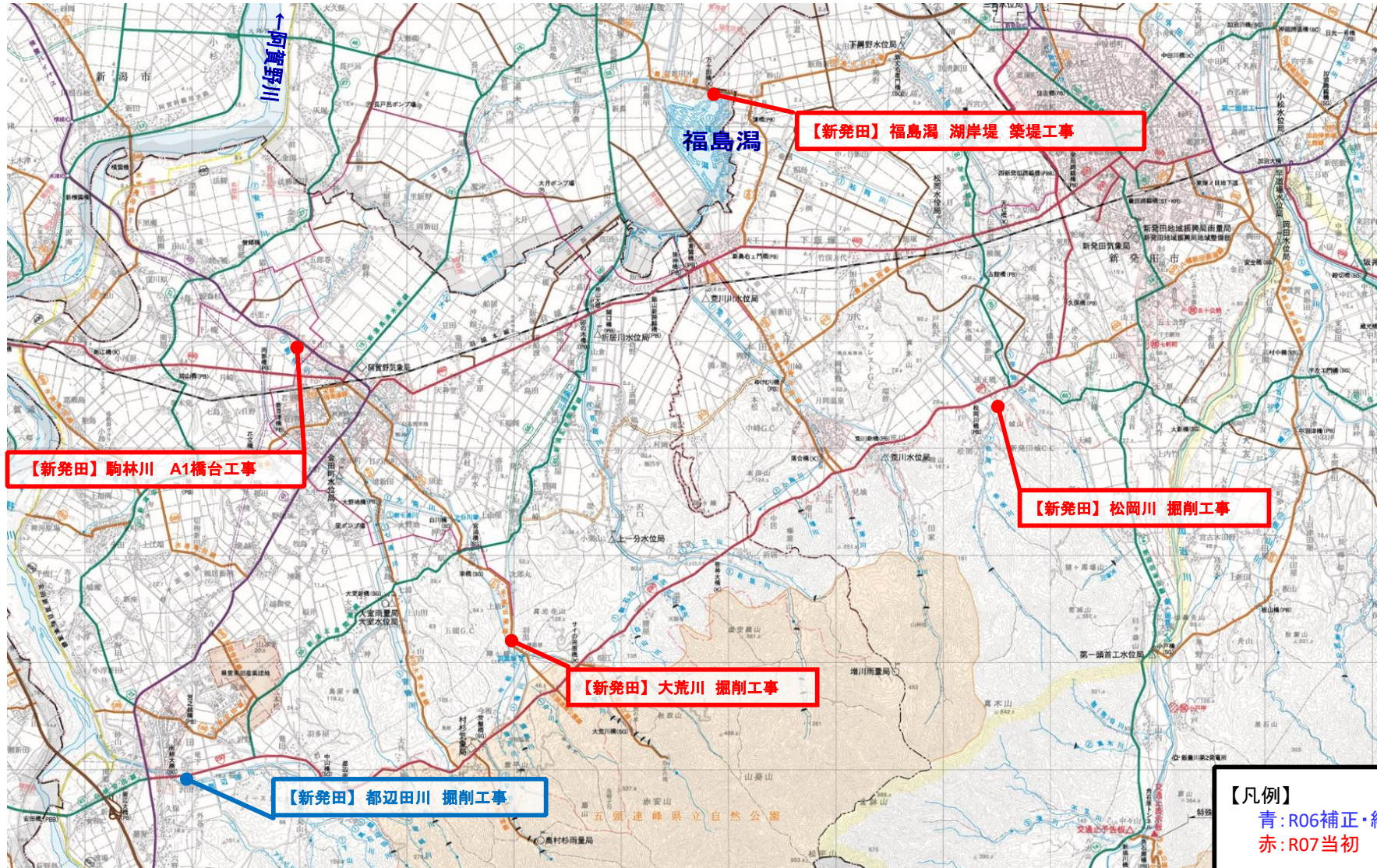


2025年11月撮影

新潟県 新発田地域振興局 地域整備部



【新発田地域整備部(一部新潟地域整備部含)】 令和7年度 新潟県の河川事業の概要



(様式4-取組概要)

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分類	① 洪水氾濫対策
実施内容	新郷川圏域河川における河道拡幅、護岸整備の実施
実施主体	新潟県新発田地域振興局地域整備部

河川整備計画に基づき新郷川圏域河川の河道拡幅及び築堤工事等を実施しています。

駒林川の河道拡幅及び築堤・護岸整備



福島潟の湖岸堤整備(築堤)

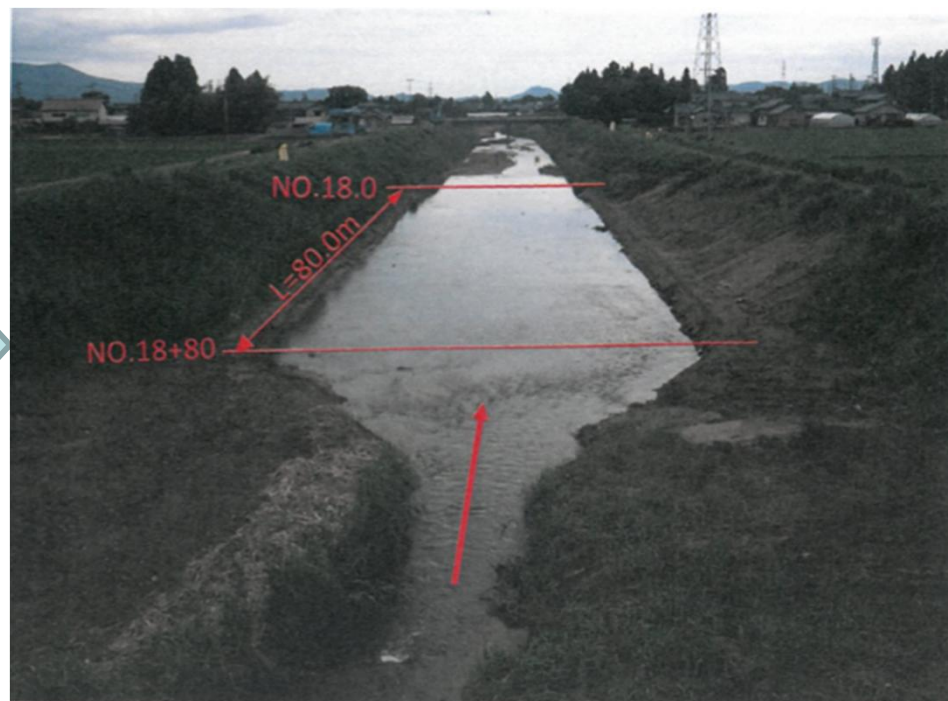


(様式4-取組概要)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分 類	① 洪水氾濫対策
実施内容	緊急浚渫事業債を活用した河床掘削工事・伐木業務委託等
実施主体	新潟県新発田地域振興局地域整備部

緊急浚渫推進事業債を活用した河道掘削工事・伐木業務委託等を実施しています。

都辺田川【阿賀野市】



新潟県 新発田地域振興局 農村整備部

(様式2-取組概要)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
分 類	① 知る機会を増やす
実施内容	社会科見学等の機会を利用し、ダム、排水機場、砂防堰堤等の役割や効果、必要性を説明
実施主体	新潟市北区、新潟県新発田地域振興局農村整備部

社会科見学等の機会を利用し、排水機場等の役割や効果、必要性を説明

【実施概要】

- ・ 日 時：令和7年6月4日（水）
- ・ 参加者：20名
- ・ 内 容：①新井郷川排水機場の見学などを通し、北区の水との闘いの歴史について理解を深める



施設見学



舟通し通過体験



排水機場から福島潟へ遡上

気象庁 新潟地方気象台

新しい防災気象情報（令和8年出水期運用開始）

現在

警戒レベル相当情報	指定河川洪水予報	洪水	大雨浸水	土砂災害	高潮
5	氾濫発生情報	大雨特別警報（浸水害）		大雨特別警報（土砂災害）	高潮氾濫発生情報
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞					
4	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3	氾濫警戒情報	洪水警戒情報	大雨警戒情報（浸水害）	大雨警戒情報（土砂災害）	（警報に切り替える可能性の高い）高潮注意情報
2	氾濫注意情報	洪水注意情報	大雨注意情報		高潮注意情報
1	早期注意情報				

- × 情報名称がバラバラ
- × 空欄のところに情報が無い
- × 同じ情報が別の対象災害を兼ねている…など

**情報名称だけでは
とるべき行動がわかりにくい**

令和8年
出水期
から

今後

警戒レベル相当情報	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
	1級河川などの大河川の氾濫	低地の浸水や大河川以外の氾濫	急傾斜地のがけ崩れや土石流	海水面の上昇や波の打ちあげによる浸水
5	レベル5 氾濫 特別警報	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報	レベル5 高潮 特別警報
＜警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！＞				
4	レベル4 氾濫 危険警報	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報	レベル4 高潮 危険警報
3	レベル3 氾濫 警戒情報	レベル3 大雨 警戒情報	レベル3 土砂災害 警戒情報	レベル3 高潮 警戒情報
2	レベル2 氾濫 注意情報	レベル2 大雨 注意情報	レベル2 土砂災害 注意情報	レベル2 高潮 注意情報
1	早期注意情報			

- 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表
- 警戒レベル4相当の情報として危険警報を新設

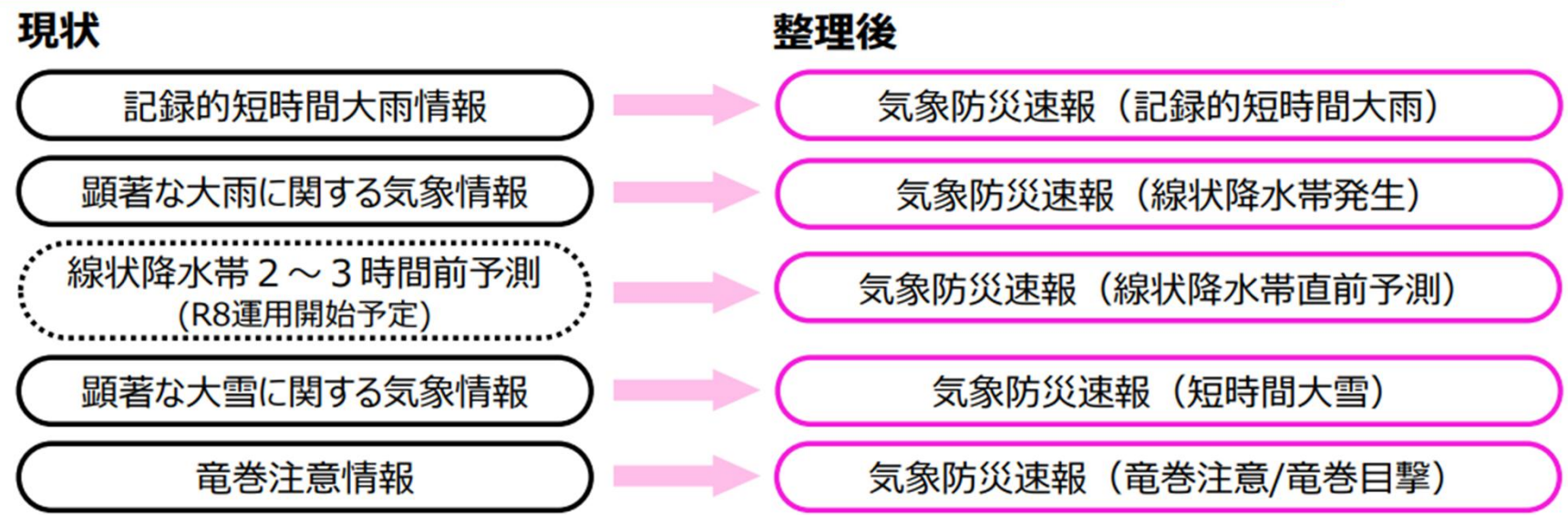
情報と対応する防災行動との関係が明確になり、

レベルの数字で、とるべき行動が分かる！

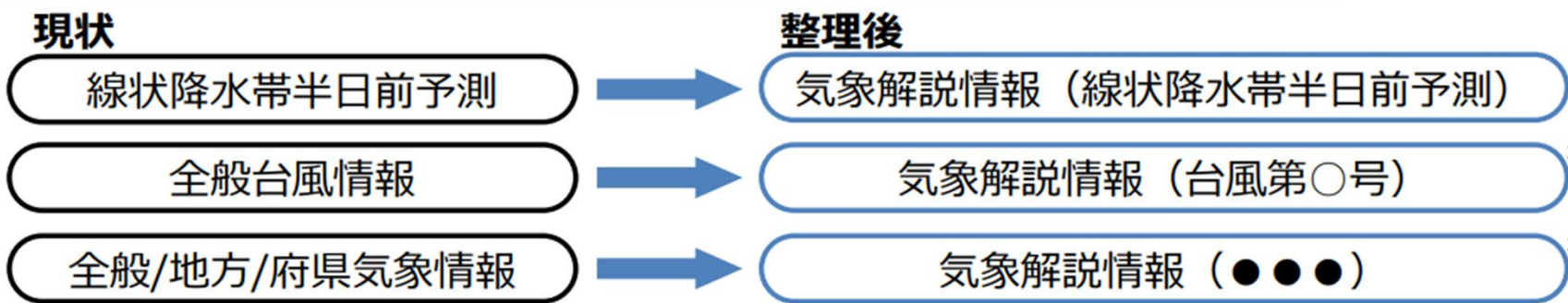


- 「**気象防災速報**」と「**気象解説情報**」の大きく2つのカテゴリーに分類して発表。
- 線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など、顕著現象が発生または発生しつつある場合にその旨を、「気象防災速報」として速報的に伝える。

極端な現象を速報的に伝える情報・・・「気象防災速報」



網羅的に解説する情報・・・「気象解説情報」





- **早期注意情報**（警戒レベル1）は、**5日先までの警報級の現象の可能性**を発表
- **時系列情報**は、警報・注意報に先立って、**翌日までの気象状況の見通し**を、毎日4回発表

早期注意情報（警報級の可能性）

	1日	2日				3日		4日	5日	6日
警報級の可能性	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	[中]	[高]	[高]	[中]	[中]	-	-	-	-

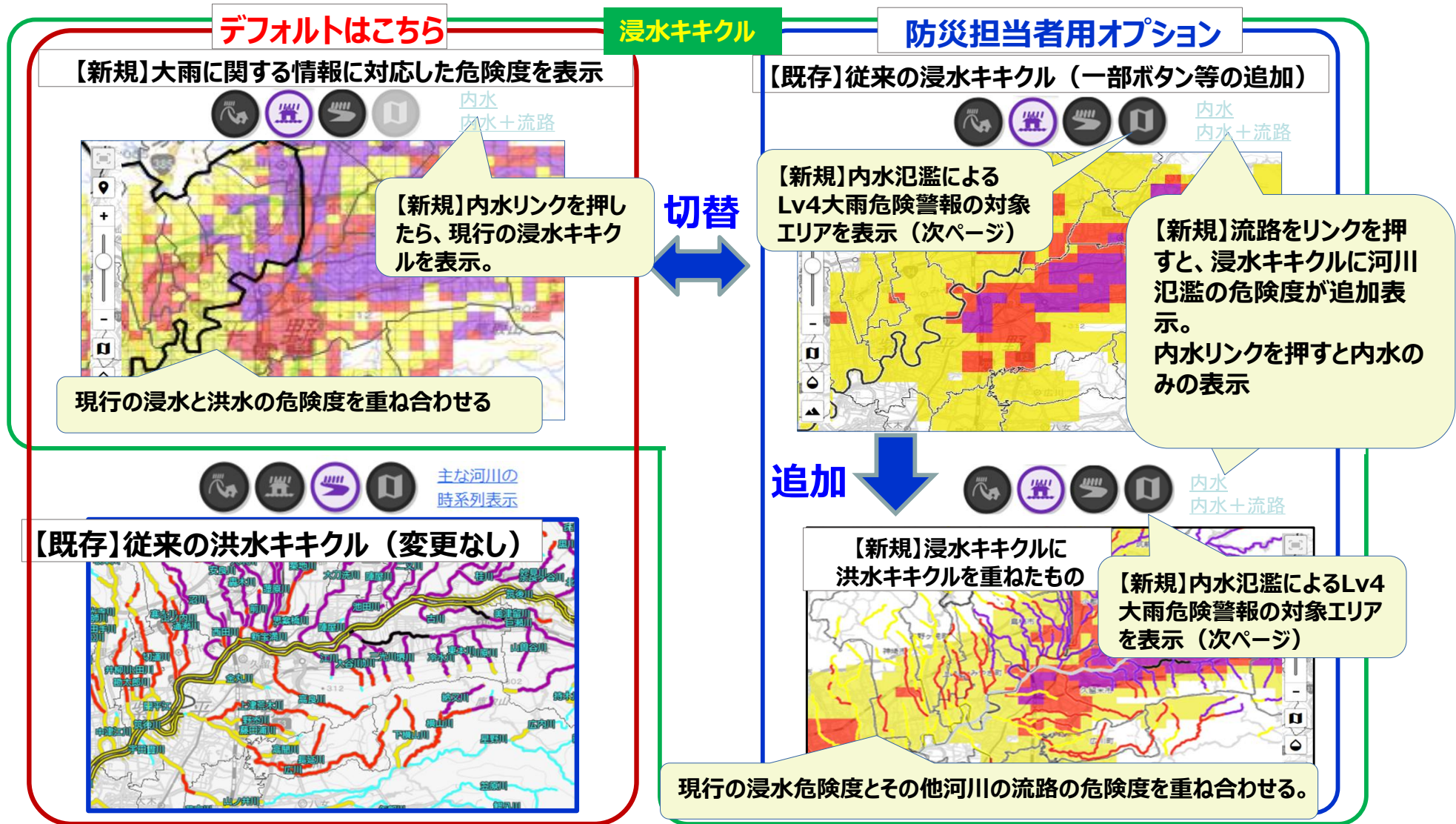
明後日までを対象とした情報について、現行では大雨に含まれる土砂災害の警報級の可能性を切り分けて発表するとともに、現行よりも情報の時間幅を細分化。

時系列情報（明日までの警報等の見通し）

全国の時系列情報（明日までの警報等の見通し）											
2025年02月17日17時00分発表											
北海道地方	17日				18日				19日	備考・関連する現象	
	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18			18-21
1時間最大雨量 (mm)	100	100	50	50	30	30	10	10	10	10	
2.4時間最大雨量 (mm)	100		100								
大雨	■	■	■	■	■	■					
土砂災害	■	■	■	■	■	■					
暴風 (m/s)	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
6時間最大降雪量 (cm)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2.4時間最大降雪量 (cm)	0		0								
大雪	■	■	■	■	■	■					
波浪 (m)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
高潮	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
霜											
融雪											
濃霧											
着氷											
着雪											
乾燥											
最小湿度 (%)	35					35					35
なだれ											
低温											
霜											

	災害切迫	特別警報基準を超えると予想される時間帯
	危険	危険警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、危険警報発表の可能性のある時間帯)
	警戒	警報基準を超えると予想される時間帯 (土砂災害、高潮については、警報発表の可能性のある時間帯)
	注意	注意報基準を超えると予想される時間帯 (高潮については、注意報発表の可能性のある時間帯)

- 大雨に関する情報の危険度表示を追加。
- 防災担当者向けに河川の外水氾濫と内水氾濫のどちらの危険度が高まっているかが一目で分かるように、浸水キキクルと洪水キキクル（流路）の重ねあわせ表示も追加。



農林水産省 北陸農政局

(取組概要)

カテゴリ	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
内容	排水機場等の適正な維持管理
実施主体	北陸農政局、施設管理者

北陸農政局では、これまで農地等の排水対策のため、排水機場の整備を行ってきました。

排水機場は農地だけでなく、市街地等の湛水の低減にも寄与することから、排水機場の維持管理を適正に行っていきます。

阿賀野川流域内の北陸農政局が整備した排水機場・排水設備

- ・ 新井郷川排水機場
- ・ 大沼排水機場
- ・ 長浦岡方排水機場
- ・ 法柳排水機場
- ・ 柳曲排水機場
- ・ 曽根排水機場
- ・ 胡桃山排水機場
- ・ 地区内1号排水機場
- ・ 地区内2号排水機場
- ・ 地区内3号排水機場



大沼排水機場



長浦岡方排水機場

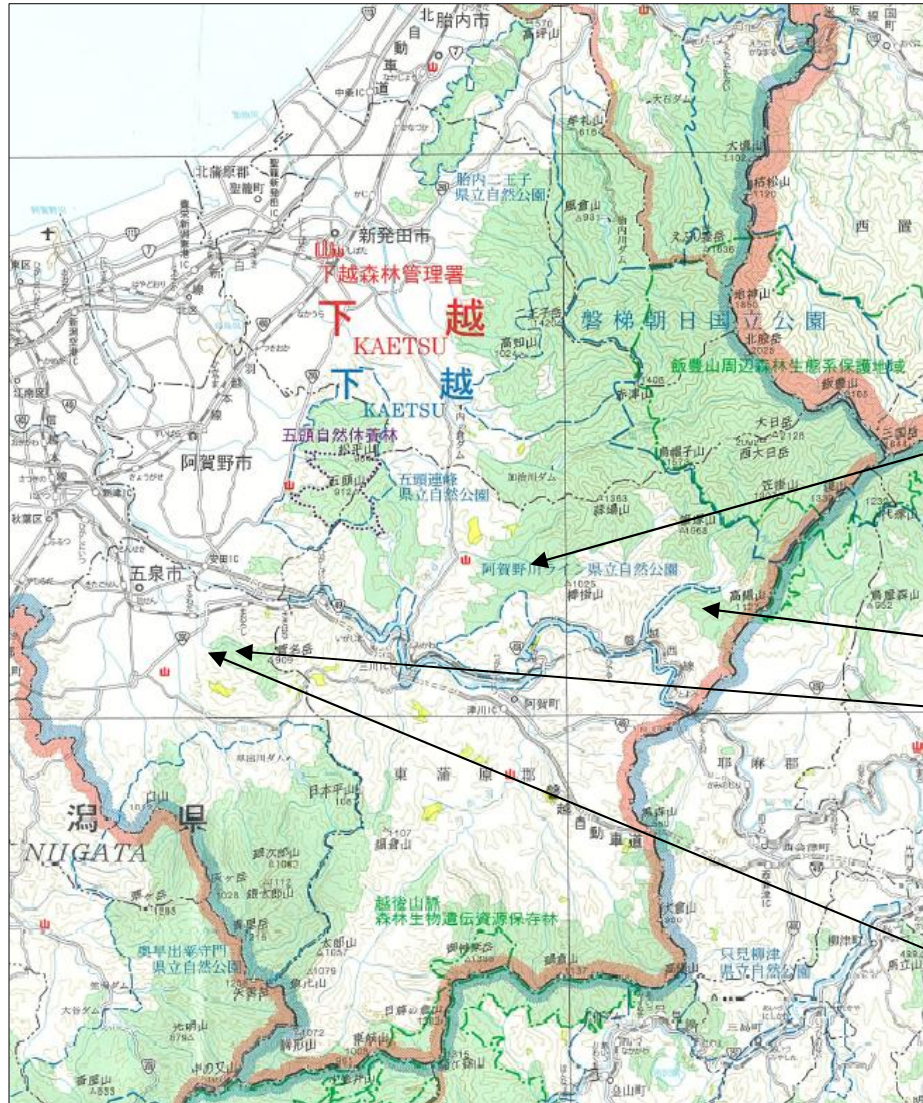
林野庁 関東森林管理局 下越森林管理署

(様式4-令和7年度取組事例)

阿賀野川水系(阿賀野川)流域における国有林の森林整備等の実施状況

区分	氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策
分類	流域の雨水貯留機能の向上
実施内容	森林整備・治山対策等
実施主体	下越森林管理署

河川上流域において、森林が持つ保水機能の維持・高度発揮のため、国有林野施業実施計画(下越森林計画区:令和7年度～令和11年度)に基づき、森林の保全整備や治山対策を実施することで、河川氾濫の防止を図る。また、今後の森林整備・治山対策に資する路線を中心とした林道等の整備復旧を推進する。



森林整備(間伐)



林道復旧



治山対策(コンクリート谷止工)



森林保全(獣害対策)

(国研)森林研究・整備機構 森林整備センター
新潟水源林整備事務所

(様式2-取組概要)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分 類	流域の雨水貯留機能の向上(森林整備)
実施内容	水源林造成事業による森林の整備・保全
実施主体	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 新潟水源林整備事務所

- ・ 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 阿賀野川流域における水源林造成事業地は、34箇所(森林面積約800ha)であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。
- ・ 令和7年度は除間伐施業を2ha実施しました。



除伐施業実施後



除伐施業実施後



除伐施業実施後

国土交通省 北陸地方整備局
阿賀野川河川事務所

■阿賀野川沿川の自治体等で構成する阿賀野川水防連絡会では、洪水時に迅速に水防活動が行えるよう、洪水による河川堤防の漏水が予想される箇所など、洪水時の重要水防箇所を事前に把握しておくための合同巡視と、土のう袋等の水防資材の備蓄状況の確認を行いました。

■開催概要

実施日：令和7年5月26日(月)

参加機関：新潟県、新潟市、阿賀野市、五泉市、新潟市 各消防団・消防署、阿賀野市 消防本部、五泉市 消防本部
東北電力(株) 会津若松支社、東日本旅客鉄道(株)新潟支社、阿賀野川河川事務所

■巡視箇所 ※(●)はランクを指す

○胡桃山出張所管内

- ・阿賀野市法柳 (堤B、基A、越B)
- ・北区三ツ屋 (堤A)
- ・江南区小杉 (堤A、堤B、基A)
- ・本所緊急資材倉庫
- ・新潟市濁川水防倉庫
- ・泰平橋 (桁B)
- ・松浜橋 (桁B)
- ・横雲橋 (桁B、径)
- ・江南区蔵岡 (水・洗A)
- ・東区松浜町 (越A、水・洗A、堤B)

○満願寺出張所管内

- ・阿賀野市下里 (越B、堤A)
- ・羽越本線鉄橋 (桁B、径)
- ・阿賀野市千唐仁 (基A、堤B、越B)
- ・阿賀野市小浮 (基A)
- ・阿賀野市小松 (越A)
- ・羽下大橋 (桁A、径)
- ・下新緊急資材倉庫
- ・秋葉区中新田 (水・洗A、越B)
- ・中新田災害対策機械等格納庫

※ 凡例 越：越水 堤：堤体漏水 基：基盤漏水
水・洗：水衝・洗掘 桁：桁下高不足 径：径間長不足

●重要水防箇所とは・・・

洪水時に危険が予想され、重点的に巡視点検が必要な箇所をいい

「重要水防箇所」には、

- ・A：水防上最も重要な区間
- ・B：水防上重要な区間
- ・要注意区間

の3ランクがあり、堤防の高さや洪水流下のための断面、堤防からの漏水等の観点から指定されます。



江南区小杉



阿賀野市小松



新潟市東区松浜町



阿賀野市下里(羽越本線鉄橋)



新潟市濁川水防倉庫



中新田災害対策機械等格納庫

流域治水施策集 及び 流域治水優良事例集について

国土交通省では流域治水の施策の内容・効果、予算・税制・技術的支援、推進上のポイントなどをまとめた「流域治水施策集」を公表している。また、全国の優良事例、先進事例を取りまとめた「流域治水優良事例集」も公表している。今後の流域治水の施策を考える際のご参考にしてください。また、流域治水ロゴマークについても積極的にご活用ください。

国土交通省 農林水産省 文部科学省 経済産業省

流域治水施策集
目的とそれぞれの役割

各施策について、目次で整理している

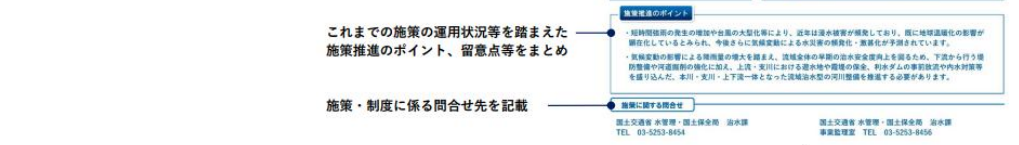
- 目的
- 実施主体
- 根拠法令・計画等
- 記載し、位置付けや役割分担を明確化

施策の内容・効果を詳述するとともに、国による支援として、予算・税制に加え、ガイドラインや通知・運用等の技術的支援について記載

※ガイドライン・手引き等について、国が策定者となる場合は記載を省略している

これまでの施策の運用状況等を踏まえた施策推進のポイント、留意点をまとめ

施策・制度に係る問合せ先を記載



目的	施策	実施主体	根拠法令等	法定計画等(1)内は計画	予算・税制	Page
洪水氾濫の防止	#1 河道掘削・築堤・引堤・放水路、ダム・遊水地、輪中堤	河川管理者	河川法 特定多目的ダム法 水資源機構法	河川整備計画 多目的ダムの建設に関する基本計画	一般河川改修事業 多目的ダム建設事業 水資源機構事業等	a7
	#2 ダム事業計画	ダム管理者	ダム法、個別の法令等 (電気事業法、土壌改良法、水資源法)	ダムダム治水機能施設整備費補助 特定用途の特別措置		a8
	#3 排水施設・ポンプ(河川)	河川管理者	河川法	河川整備計画	河川治水機能施設整備費補助 特定用途の特別措置	a9
内水の排除 (排水元の管理者の責任で 設置・管理することが原則)	#4 排水施設・ポンプ(下水道)	下水道管理者	下水道法	下水道事業計画	下水道治水機能施設整備費補助 特定用途の特別措置	a11
	#5 排水施設・ポンプ(農業水利施設)	都道府県 農業水利施設管理者等	土地改良法	土地改良長期計画	国管かんがい排水事業 農村地域防災減災事業等	a12
河川への流出抑制 市街地等の浸水の防止	#6 排水施設・ポンプ(普通河川・水路)	施設管理者	-	-	-	a13
	#7 雨水貯留浸透施設(調整池・公共施設)	市町村・都道府県	特定都市河川浸水被害対策法 施設に係る法令・条例等	流域水害対策計画	特定都市河川浸水被害対策推進事業 流域貯留浸透事業	a14
市街地等の浸水の防止	#8 雨水貯留浸透施設(下水道)	下水道管理者	下水道法	下水道事業計画	大規模雨水処理施設整備費補助 特定用途の特別措置	a15
	#9 雨水貯留浸透施設(民間施設)	事業事業者・個人	下水道法 特定都市河川浸水被害対策法 施設に係る法令・条例等	下水道事業計画 流域水害対策計画	下水道治水機能施設整備費補助 特定都市河川浸水被害対策推進事業等	a16
農地等の浸水の防止	#10 たため池の活用	市町村・都道府県 農業者	土地改良法	土地改良長期計画	農村地域防災減災事業 水利施設管理強化事業等	a17
	#11 「田んぼダム」	農業者	土地改良法 農業の有する多目的機能の 発達の促進に関する法律	土地改良長期計画	農地耕作条件改善事業 多目的機能支払交付金等	a18
貯留機能の保全(浸水の許容)	#12 貯留機能保全区域	都道府県等	特定都市河川浸水被害対策法	流域水害対策計画	国土防災機能等の特別措置	a19
	#13 浸水被害防止区域	都道府県	特定都市河川浸水被害対策法	流域水害対策計画	-	a21
新たな居住に対し、 立地を規制する 居住者の人命を守る	#14 災害危険区域	市町村・都道府県	建築基準法(規制内容は条例で規定)	-	-	a22
	#15 住宅等の防災設備 (備え付け・プロテック等)	市町村・都道府県	-	-	災害危険区域等建築物防災改修事業	a23

流域治水施策の実施主体別の目的・役割分担等の一覧化(目次)

流域治水 優良事例集

#1 河道掘削・築堤・引堤・放水路、ダム・遊水地、輪中堤

流域治水優良事例集

沖鋒川水系沖鋒川 (青森県青森市)

平時における遊水地の利活用

推進のポイント

- 遊水地の整備を合わせて、小中学校と運転免許センターの建設計画が同時期に持ち上がったことから共同で使用する事となり、上面利用に至った。
- 遊水地内の都市施設管理者とアロケを組み、県が用地取得の上、遊水地を整備、用地は、負担割合に相当する面積をそれぞれ所有。
- 遊水地内は各管理者が日常管 (河川公園) 青森市
【三内西小学校・三内中学校 青森市教育委員会
【運転免許センター】 青森県警察本部

事例概要

沖鋒川では、もともと治水対策の一つとして遊水地が計画されておりましたが、複数の公的機関が広大な敷地を必要としたことを背景とし、多目的遊水地としての整備が行われました。遊水地は平成6年度に洪水調節施設としての効果を発揮するとともに、平時は上面を多目的に利用されております。

実施主体

- 青森県

関係者

- 青森県青森市
- 青森市教育委員会
- 青森県警察本部

活用制度

- 中小河川改修事業
- 治水緑地事業
- 多目的遊水地事業
- 流域貯留浸透事業 等

PRポイント

- 遊水地内には県運転免許センターや小・中学校が立地し、多目的に利用している。
- 各施設1階部分はピロティ形式となっており、遊水地が浸水した場合でも床上浸水被害を生じない。
- 周辺の「青森」 「仁八堤」は青森市により雨水貯留施設としての整備が実施されており、遊水地だけでなく、流域全体で氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策が行われている。

問い合わせ 青森県河川砂防課 TEL: 017-734-9665

デザインメッセージ:

日本はどこに行っても川があり、水に囲まれています。資源でもあります。災害も引き起こす川と共存して行かなければなりません。中央の図形は、多様な地域同士が行政界を超えて流域で連携していくイメージを重なりで表現しています。その周囲を囲むような円は、水災害対策により流域を守っていくことを、円の端の手は、このような対策は長年多くの人の手により進められてきたことや、これからも地域同士、住民同士が手を取り合って水災害に立ち向かっていこうという意志を表したものです。また、さまざまな水滴の円は、協働して水害に対して備えていく国、自治体、団体、住民を表しています。

流域治水

阿賀野川水系（阿賀野川）流域治水プロジェクトHPにて「※市町村毎の取組内容を今後掲載していく予定です。」としていた、3つの対策の取組内容について、以下のとおり各機関の取組内容を掲載し、より一層の見える化を図ります。

3つの対策

集水域・氾濫域・河川区域をひとつの地域とみなし実施します。

1

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

詳細へ

2

被害対象を減少させるための対策

詳細へ

3

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

詳細へ

1

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川整備による流下能力の向上、既存ダム活用による流水の貯留、雨水貯留機能の拡大等により、できるだけ氾濫を防ぎ・減らします。

【各構成機関の取組み内容】

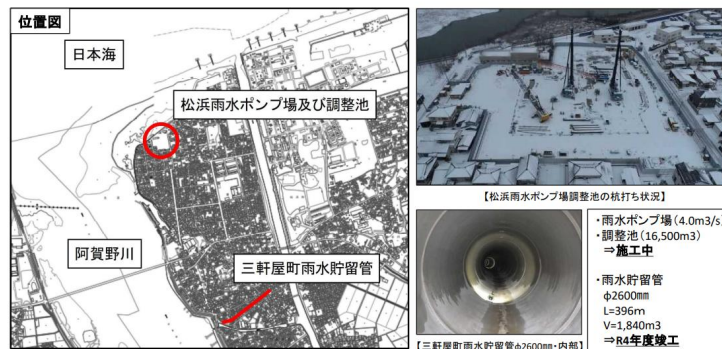
- 新潟市
- 五泉市
- 阿賀野市
- 新発田市
- 阿賀町
- 東北電力株式会社 会津若松支社
- 新潟県
- 気象庁 新潟地方気象台
- 農林水産省 北陸農政局
- 林野庁 関東森林管理局 下越森林管理室
- 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 新潟水産林整備事務所
- 国土交通省北陸地方整備局 阿賀野川河川事務所

NEW

掲載内容

区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分類	②内水氾濫対策、⑥流域の雨水貯留機能の向上
実施内容	雨水貯留施設、雨水管、雨水ポンプ場の整備(概ね10年に1回発生する降雨(最大で約50mm/h)に対応)
実施主体	新潟市 下水道部

松浜排水区(新潟市北区)における浸水対策施設の整備
施設整備は、概ね10年に1回発生する降雨(約50ミリ/時間の計画降雨)への対策を進めています。



区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
分類	①洪水氾濫対策、②内水氾濫対策
実施内容	本川・支川、地域と連携した流域治水対策
実施主体	国土交通省 阿賀野川河川事務所、新潟県 新発田地域振興局、阿賀野市

阿賀野川と右支川・藤戸川の合流点において、国による逆流防止樋門の整備に合わせ、県(支川管理者)による自己流域整備(堤防嵩上げを実施)。内外水への更なる被害軽減対策として、流出抑制対策や雨水貯留対策などの流域治水の取組を関係機関が連携し、検討をおこなっている。



生成AIを活用した流域治水動画について(阿賀野川河川事務所)

「生成AIを活用した流域治水動画」について、現在作成中。
 今後、SNS (X) やホームページ (阿賀野川水系 (阿賀野川) 流域治水プロジェクトページ) 等にも動画を掲載予定。

- ★目的・・・流域治水について、若年層から大人まで幅広い層に対して、動画を用いて分かりやすく伝える
- ★期待される効果・・・動画の拡散による、流域治水の認知度向上・自分事化を促進
- ★生成AIの使用箇所・・・シナリオ (案)、キャラクター原案、動画中の解説画像等

動画公開方法 (利用媒体)	主なメリット	主なターゲット層
X	<u>情報の拡散性が大きい</u>	X利用者 <u>(若い世代を中心に幅広い層)</u>
ホームページ	継続的に動画の公開が可能 動画以外の関連リンクの貼り付けが可能	幅広い層 事業者、国・自治体職員等
チラシ	デジタルデバイスを利用しない方にも情報が届く 配布先の多様化が可能	インターネットを利用しない層 <u>地域住民 (阿賀野川流域)</u>

動画イメージ (案)

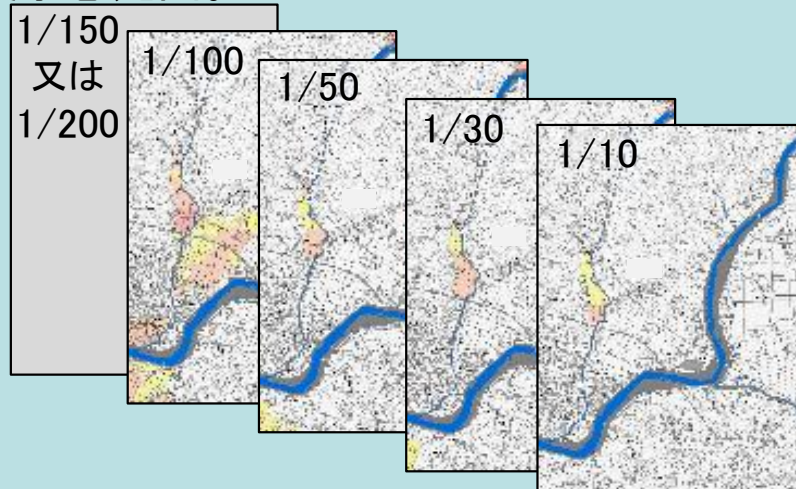


国や都道府県では、これまで水防法に基づき住民等の迅速かつ円滑な避難に活用する水害リスク情報として、想定最大規模降雨を対象とした「洪水浸水想定区域図」を作成し公表してきました。

国土交通省では、これに加えて、**土地利用や住まい方の工夫、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討及び企業の立地選択**など、流域治水の取り組みを推進するため、比較的発生頻度が高い降雨規模も含めた複数の降雨規模毎に作成した浸水想定図（「多段階の浸水想定図」）と、それらを重ね合わせて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した「水害リスクマップ」を作成・公表することとしました。

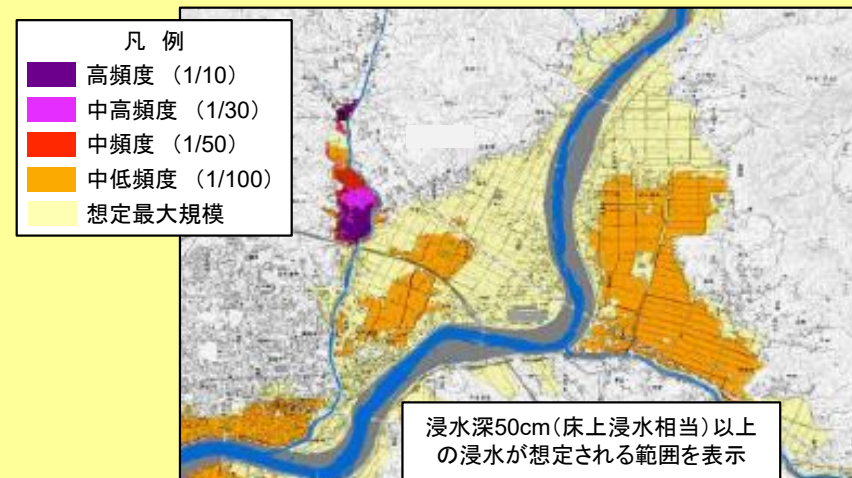
【多段階の浸水想定図】

想定最大規模に加え、高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎（1/10、1/30、1/50、1/100、河川整備の計画規模（1/150又は1/200））に作成した浸水想定図。



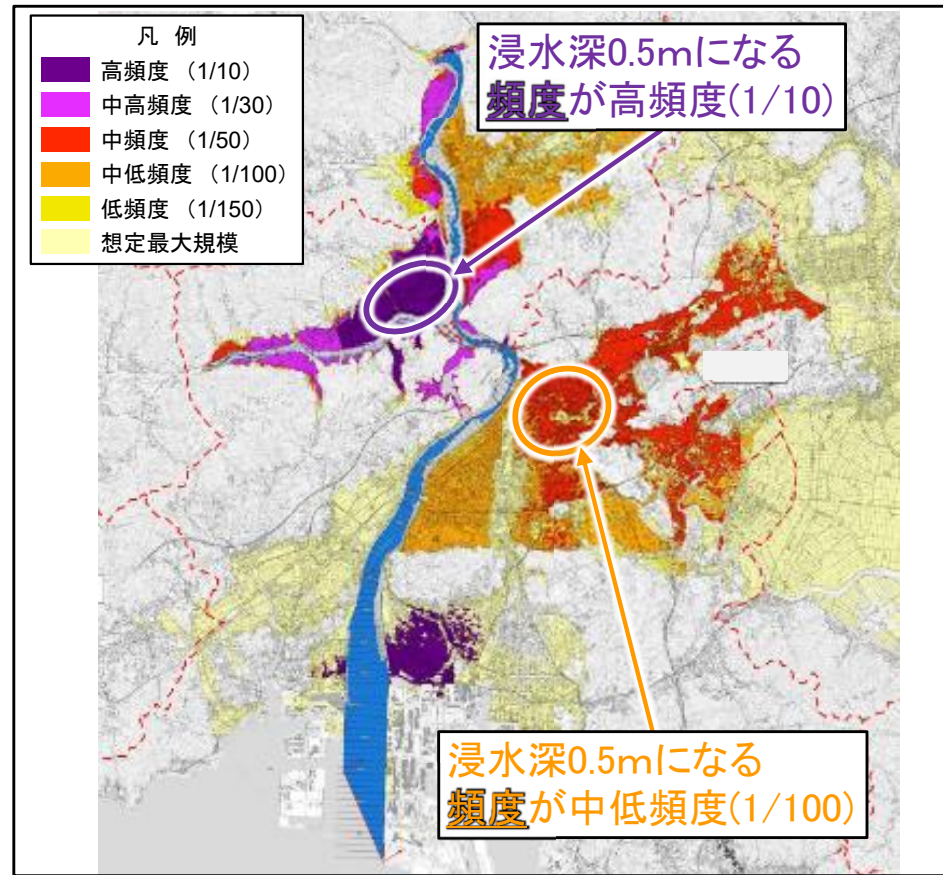
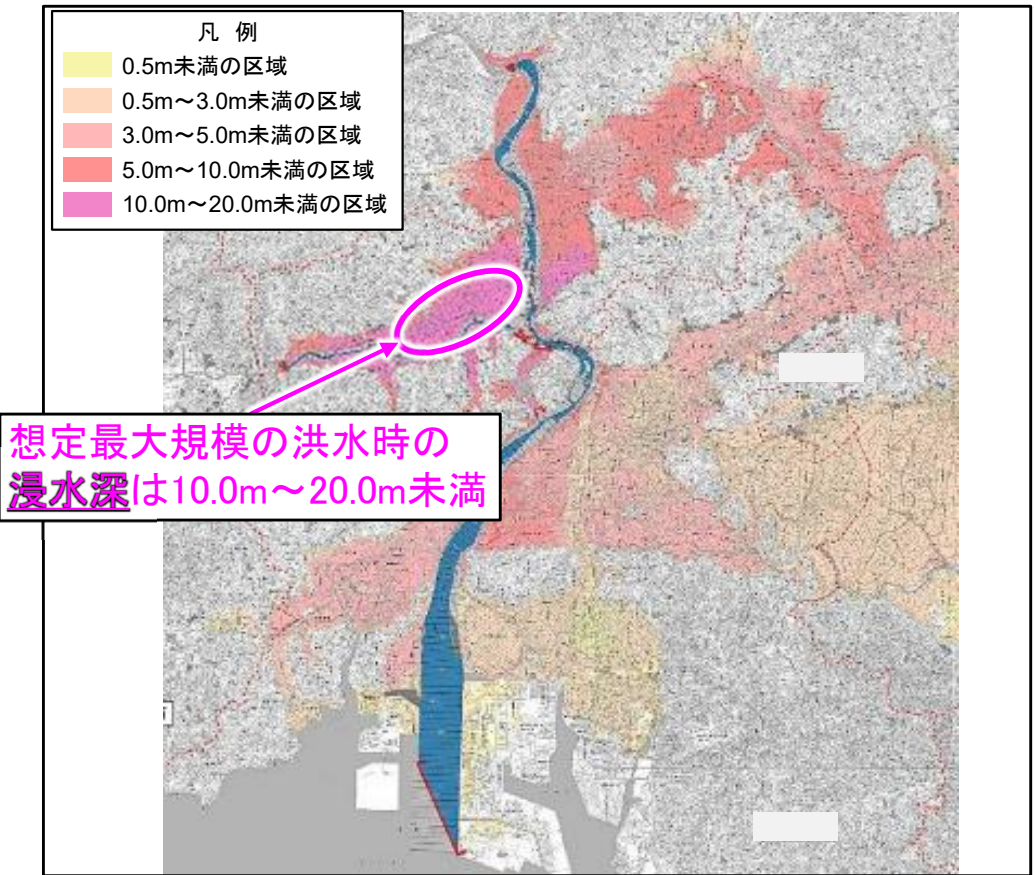
【水害リスクマップ】

多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎（0.0m以上、0.5m以上（床上浸水）、3.0m以上（1階居室浸水））に重ね合わせて作成した図面。

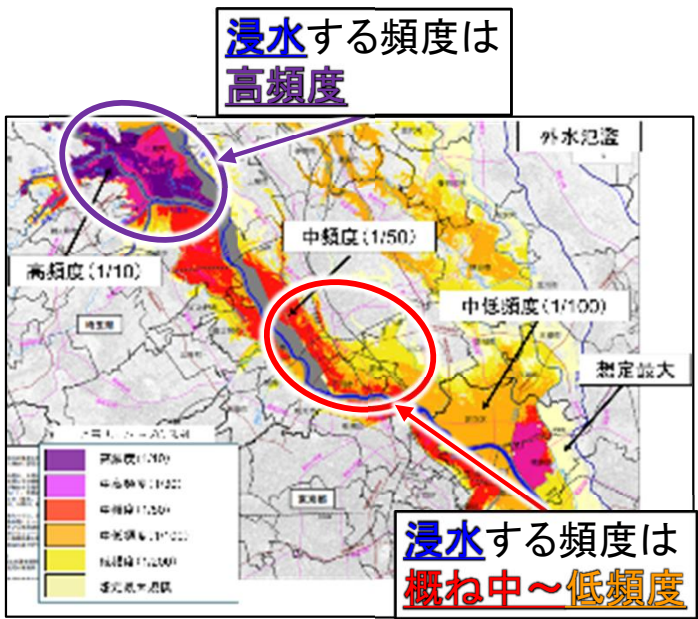


水害リスクマップについて

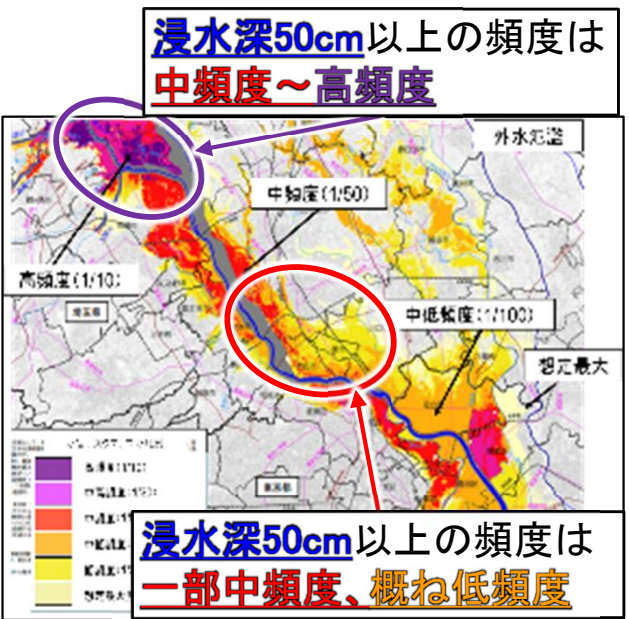
	洪水浸水想定区域図	水害リスクマップ (浸水頻度図)
表す情報	浸水範囲、浸水深 (m)	浸水範囲、浸水頻度 (〇〇年に1度程度)
主な用途	避難行動	防災まちづくり、企業立地選択等
降雨条件	想定される最大規模の降雨	発生頻度の異なる降雨
河道の時点	現在	現在及び河川整備後



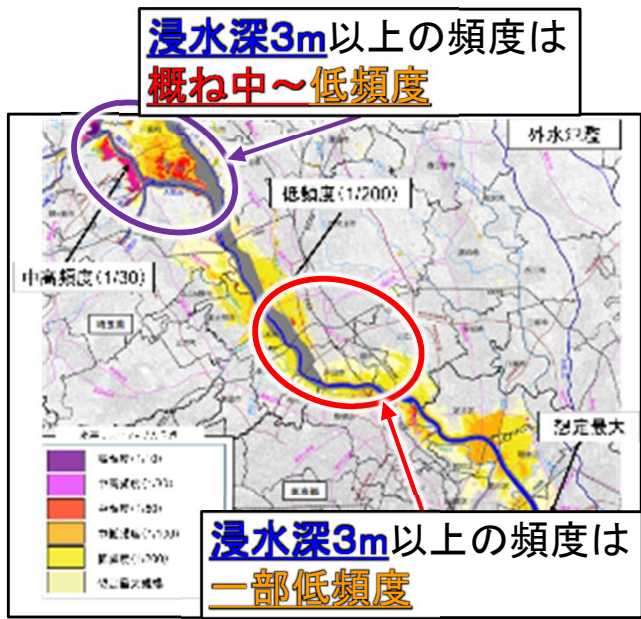
水害リスクマップの見方・活用例



① 浸水する範囲



② 浸水深50cm以上
(床上浸水相当以上)



③ 浸水深3m以上
(1階居室浸水相当以上)

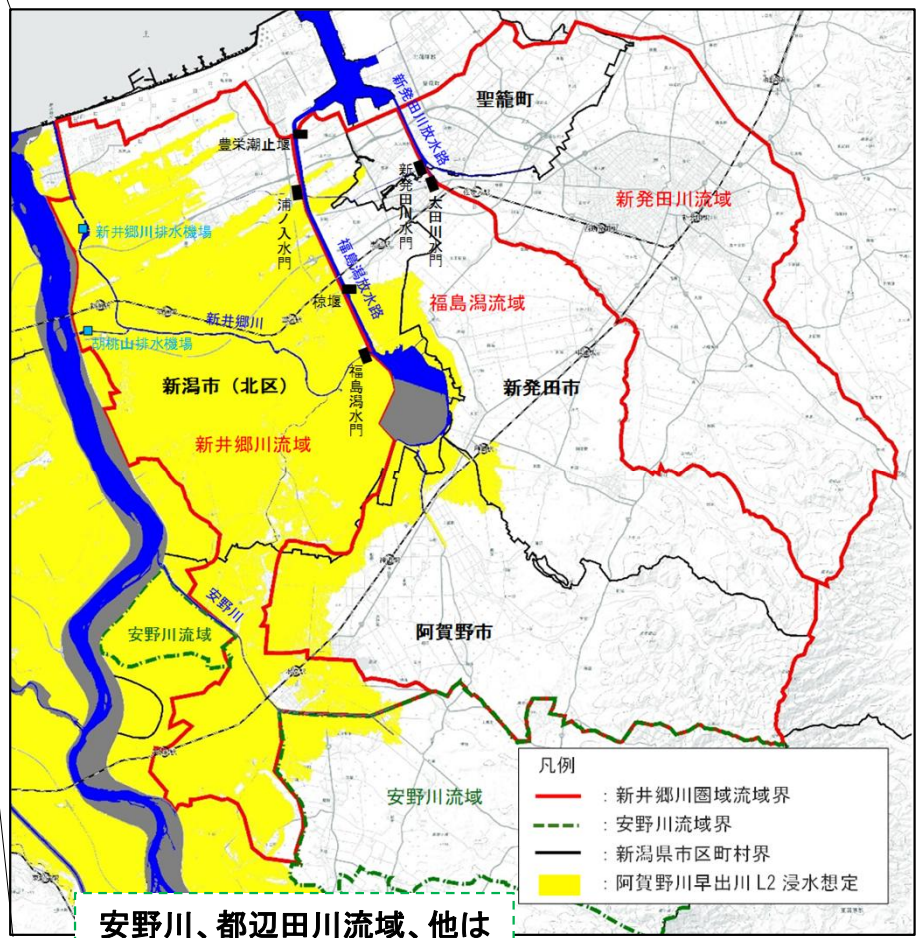
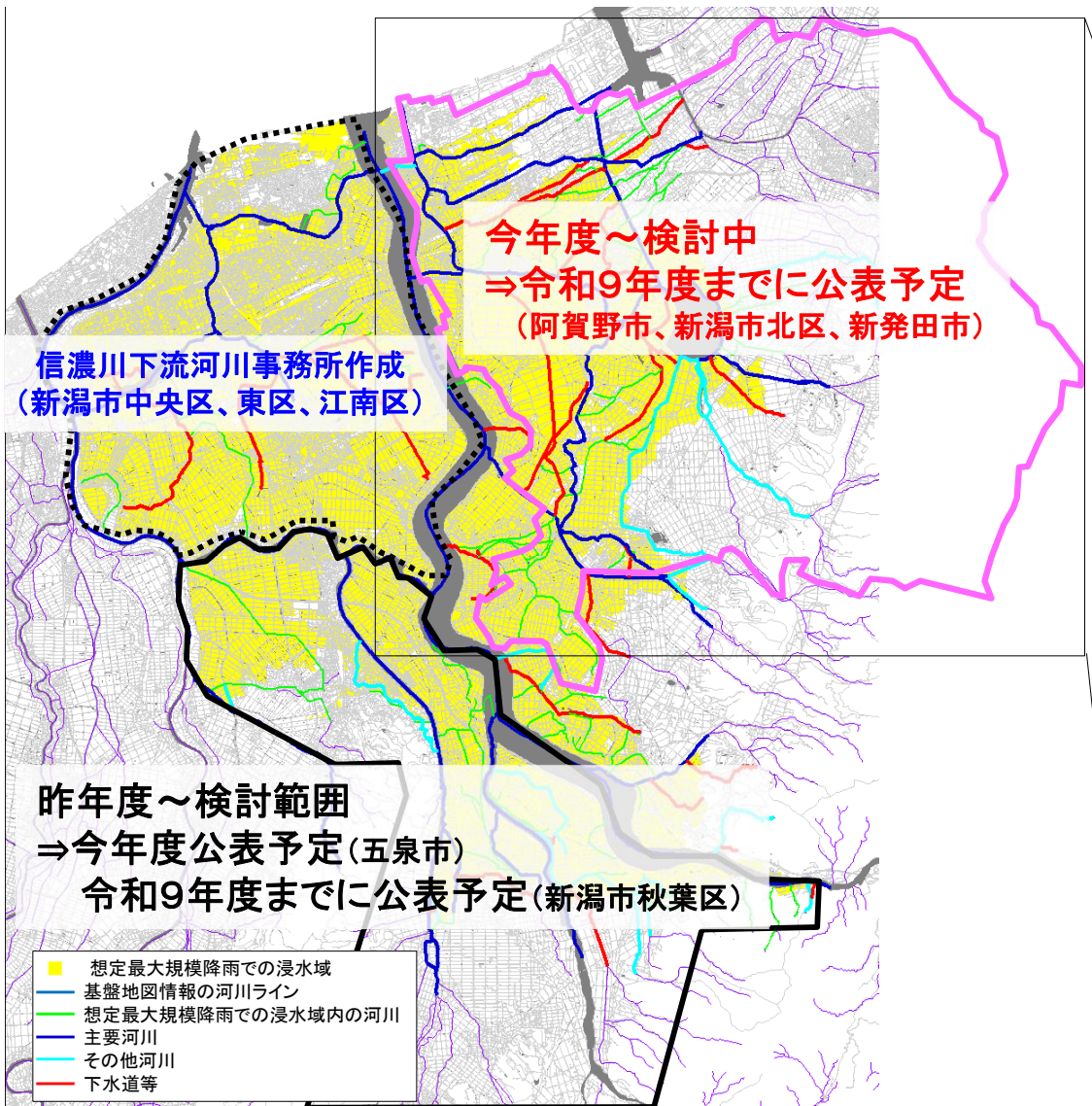
3つの図を並べて見比べる

- ⇒ **【土地利用や住まい方の工夫に利用する場合】**
居住スペースや1階をピロティ構造にするなど、建築構造の参考にするなどの活用が考えられます。
- ⇒ **【企業立地選択等に利用する場合】**
浸水頻度の高い場所への施設の立地を避けるほか、浸水確率を踏まえて事業継続に必要な資機材を2階以上に移動する、止水壁を設置するといった対策の検討に活用することが考えられます。
- ⇒ **【水災害リスクを踏まえたまちづくり・避難所設置に利用する場合】**
立地適正化計画における防災指針の検討・作成への活用などが考えられます。

リスクマップ公表予定時期・対象エリア(阿賀野川)

- 今年度中に、「五泉市」における、内外水統合の多段階浸水想定図・水害リスクマップの公表を予定。
- 残りのエリア(「新潟市秋葉区」「新潟市北区」「阿賀野市」「新発田市」)については、令和9年度までに公表予定。

作業状況位置図



安野川、都辺田川流域、他は
令和8年度以降検討予定